

優しい言葉あふれる

「明るい町づくり」標語表彰式

表彰を受けた皆さん



新宮市立少年相談センターによる、第33回「明るい町づくり」特選標語表彰式が1日、市福祉センターであった。市内の小・中・高校と紀宝町立矢渕中学校の15校から特選に選ばれた15人(各校1作品)が表彰を受けた。

毎年この時期が恒例となっている。各学校で選考された78点の中から、特選として15点を選出。今回、選ばれた標語には「充電器」「スマホ」「令和」など、新しい時代を象徴したり、友人への思いやりを表した言葉が多く含まれているのが特徴。表彰式には、受賞の児童・生徒のほか、保護者や教職員、同センターの補導協力員らが出席。一人一人の作品が紹

介されたあと、受賞者が登壇し、速水盛康教育長から表彰状を受け取った。速水教育長は「皆さんが書かれた言葉にずいぶん心打たれることがあります。笑顔、心など、やさしい言葉で書かれており、素直な気持ちが伝わってきた。78点の作品が市民の心に届き、明るいまちづくりにつながれば」と講評した。

特選標語は市内の公民館や各学校などに1年間掲出し、児童や生徒、保護者、市民らに広く啓発することになっている。(茂村振五)

特選標語と受賞者は別枠の皆さん。敬称略。

この街と心きれいにボランティア
令和から幸せ願い笑顔咲く
助け合う心一つで笑顔の輪
とどけよう心をつなぐありがとう
「おはよう」は友達ふやさい言葉
スマホより言葉でかわそうあいさつを
来た人が笑顔で帰れる町づくり
人間は人の笑顔が充電器
「こんにちは」笑顔と元気をプレゼント
この町にあふれさせたい挨拶を
咲かせよう令和に平和な花びらを
あかるくてみんな笑顔の新宮市
心がけ「誰かが」よりも自分から
ポイ捨ては自分の運まで捨てている
笑顔はね世界を結ぶ共通言語

紅	彩美(神倉小6年)
浦田	葵(王子ヶ浜小6年)
新家	玲奈(三輪崎小6年)
溝口	ゆい(高田小6年)
中本	陽晴(熊野川小4年)
打越	菜七(緑丘中3年)
山本	力羽(城南中3年)
貝岐	優(光洋中1年)
溝口	心(高田中3年)
松本	大惺(熊野川中2年)
畑中	将真(近大附属新宮中3年)
須川	優那(矢渕中1年)
加藤	千晴(新宮高(定時制)1年)
坂井	幸弥(新翔高1年)
山本	陽都(近大附属新宮高1年)